

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県御坊市外五ヶ町病院経営事務組合 ひだか病院

| 法適用区分 | 業種名・事業名 | 病院区分    | 類似区分          | 管理者の情報     |
|-------|---------|---------|---------------|------------|
| 当然財務  | 病院事業    | 一般病院    | 300床以上～400床未満 | 非設置        |
| 経営形態  | 診療科数    | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1     | 指定病院の状況 ※2 |
| 直営    | 18      | 対象      | 訓             | 救 臨 感 へ 災  |
| 人口（人） | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 不採算地区中核病院     | 看護配置       |
| -     | 27,072  | -       | 第2種該当         | 10：1       |

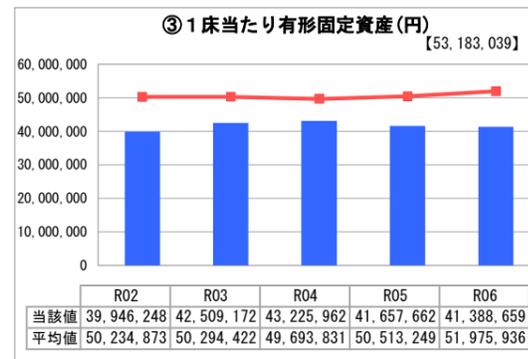
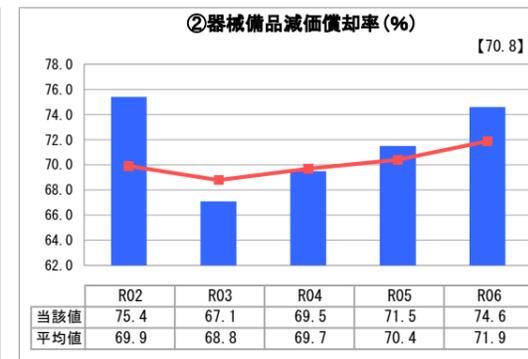
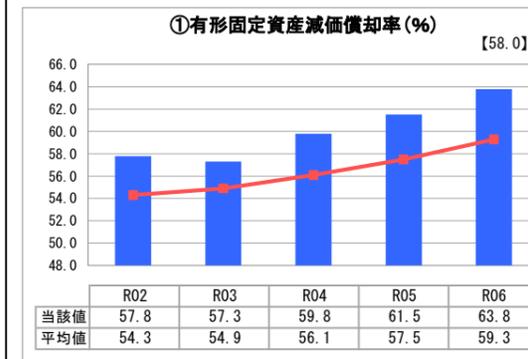
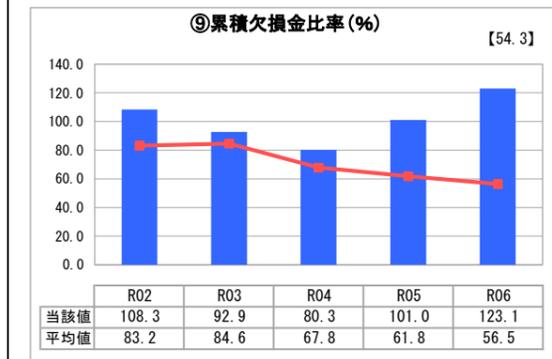
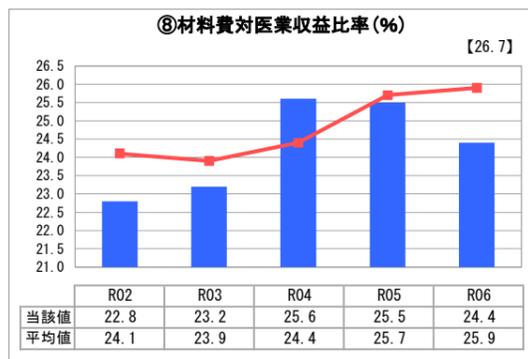
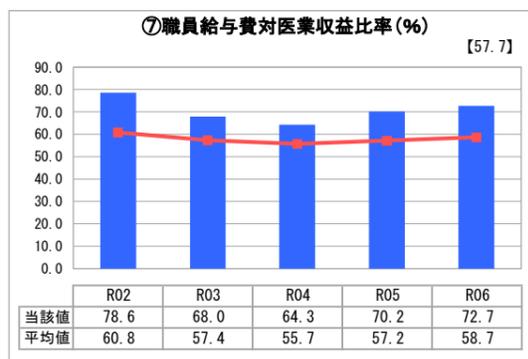
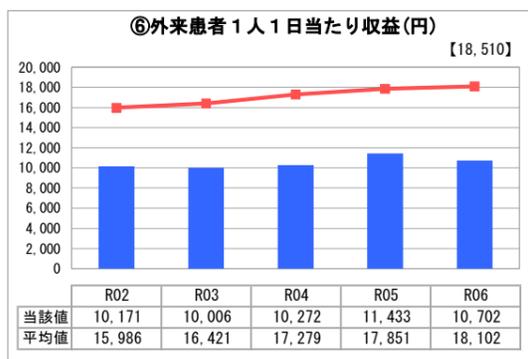
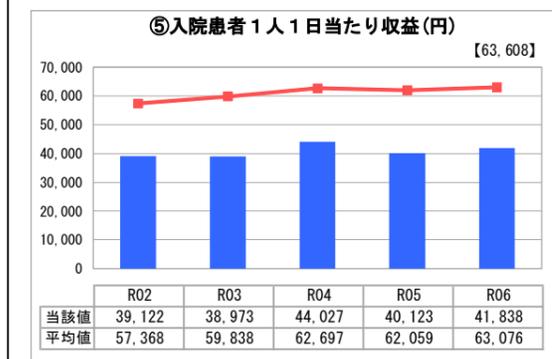
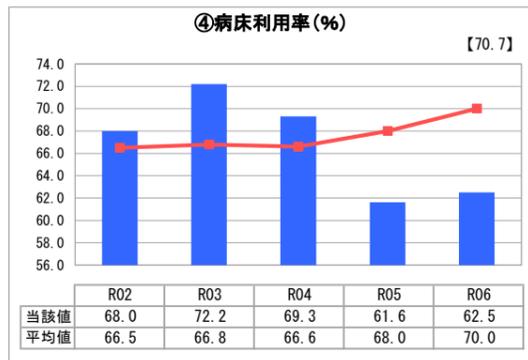
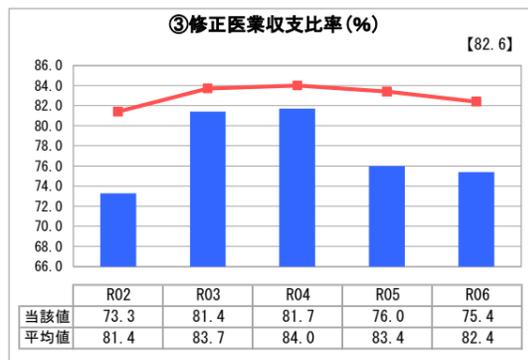
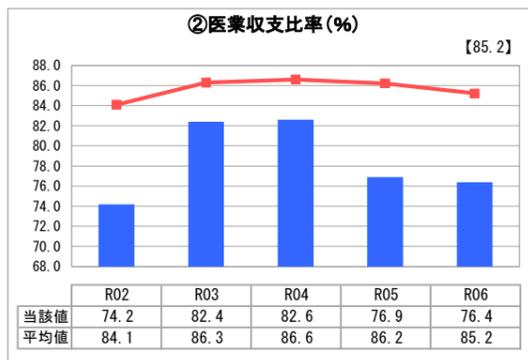
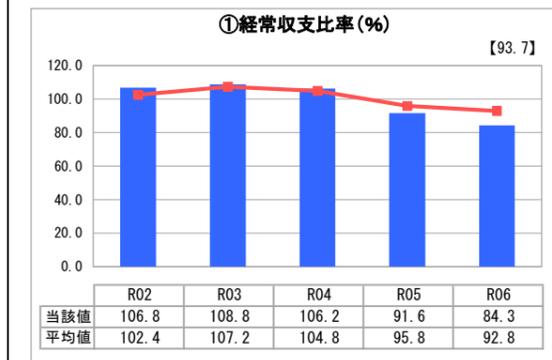
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

| 許可病床（一般）   | 許可病床（療養）   | 許可病床（結核）      |
|------------|------------|---------------|
| 263        | -          | -             |
| 許可病床（精神）   | 許可病床（感染症）  | 許可病床（合計）      |
| 100        | 4          | 367           |
| 最大使用病床（一般） | 最大使用病床（療養） | 最大使用病床（一般+療養） |
| 233        | -          | 233           |

| グラフ凡例 |              |
|-------|--------------|
| ■     | 当該病院値（当該値）   |
| —     | 類似病院平均値（平均値） |
| 【】    | 令和6年度全国平均    |

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

| 機能分化・連携強化<br>(従来の再編・ネットワーク化を含む) | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|---------------------------------|-----------|-----------|
| -                               | -         | -         |
| 年度                              | 年度        | 年度        |

### I 地域において担っている役割

当院は和歌山県内の地域中核病院の中で五疾病・六事業すべてを病院単体で対応可能な唯一の病院として、当該圏域の医療を守る為、救急・小児・周産期・精神・災害医療・感染症等の部門も担っている。

基幹となる病院として、「質の高いがん医療」が受けられるよう和歌山県独自で指定する「がん診療連携推進病院」、若い医師の育成・指導の場として「臨床研修指定病院」、へき地・過疎地域の継続かつ安定的な医療の確保に貢献する為「へき地医療拠点病院」にそれぞれ指定されている。平成30年度には「救急科」を開設、令和4年度には精神科において県内で2番目となる修正型電気けいれん療法を導入し、引き続き医療体制の充実を図っている。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率、医業収支比率および修正医業収支比率のいずれも平均を下回っており、収益性の面で厳しい経営状況にある。これは、新型コロナウイルス感染症に伴う病床確保を始めとした補助金等の完全終了による収益減少に加え、入院収益の伸び率が低調であったことや外来収益が減少したことが主な要因と考えられる。

また、病床利用率が平均を下回っていることに加え、入院・外来ともに患者1人1日あたり収益が平均を大きく下回っており、病床、職員、設備等の運営体制に対する稼働率および収益効率が十分に確保されていない状況である。一方、費用面においては、給与ベースアップや、物価高騰の影響による諸経費の増加により費用が増加しており、これらが収益減少と相まって、経営の健全性および効率性に影響を及ぼしている。

#### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産および器械備品の減価償却率が平均を上回っており、設備の使用年数が進んでいる状況にある。一方、1床あたり有形固定資産額が平均を下回っている点については、近年、土地や建物に関する大規模な新規投資や更新投資を実施していないことによるものと考えている。

### 全体総括

給与等の費用の増加・人口減少に伴う患者数減により収支構造が厳しさを増しており、収益性および効率性の指標が平均を下回っている。有資格者の人材確保においても難しくなりつつある中で、現在の人員や病床などの診療体制が最大限に発揮できるように構造変化していくことが課題である。

また、設備の老朽化が進行している一方で、1床あたり有形固定資産額が平均を下回っており、更新需要が高まる中で近年大規模な設備更新投資が十分に行われていないことが要因である。

以上のことから、当院においては収益力強化および経営効率の改善を図るとともに、財務状況を踏まえた計画的な設備更新を進めていくことが重要な課題であり、持続可能な医療提供体制の確保に向けた中長期的な経営改善への取組が必要である。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。